

企001	項目名	シティセールス推進事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	総合企画費	ページ	19
年度	R2	所 属 名	
		企画推進部 政策企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【10次総の施策体系】 2202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	本市は、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町との経済・生活圏を一体とした「麒麟のまち」圏域を形成している。		
(単位：千円)	一方で、新型コロナウイルスの影響で、県外ナンバーの車両に対する嫌がらせが発生しており、この防止と、圏域の一体感を高め、来訪者を歓迎する体制を整えていく必要がある。		
補正前額	0	【事業の目的及び効果】	
要求額	3,784	麒麟のまち圏域におけるパートナーシップの醸成、新たな交流が始まる中での嫌がらせの防止と、来訪者を歓迎するためのおもてなしの心のPRを目的として、車両用ステッカーや除菌シート・手指消毒用アルコールを作成し活用いただくことで、「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」のエリアプロモーションを図る。	
総務部長段階査定額	3,399	【事業の内容】	
市長段階査定額	3,399	○麒麟のまちパートナー車両用ステッカー(1,600枚)作成費 495千円	
		鳥取市・圏域各町において希望者に配布	
		○麒麟のまちPRウェットティッシュ作成費 990千円	
		市内道の駅3カ所(各2,000個)に配布	
		○手指消毒用アルコール(1,500個)作成費 1,914千円	
		市内飲食店(プレミアム付飲食券協力店を中心)に配布	
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	3,399		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	3,399		
行財政改革課処理欄			

企002	項目名	環境大学運営費交付金(授業料減免制度分)(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	19
年度	R2	所 属 名	
		企画推進部 政策企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】 1102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	新型コロナウイルス感染症の影響によって経済的に困難な状況にある学生に対し、支援が必要な状況となっている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	0	新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、経済的に困難な状況に陥っている学生を支援するため、公立鳥取環境大学が独自に設ける減免制度に必要な経費について運営費交付金を支給する。	
要求額	12,340	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	12,340	公立鳥取環境大学が独自に設ける減免制度	
市長段階査定額	12,340	○対象者	
		令和2年度在校生(新入生含む)で新型コロナウイルス感染症の影響により授業料の支払いが困難になる者のうち、高等教育の修学支援新制度等の授業料減免対象者(ただし、全額免除の対象者は除く。)、若しくは、学生支援緊急給付金給付事業の支給対象者。	
		○減免額	
		授業料の1/3に相当する金額	
		○予算額	
		12,340千円	
		事業費 24,680千円(市：1/2 12,340千円、県：1/2 12,340千円)	
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	12,340		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	12,340		
行財政改革課処理欄			

企003	項目名	市内学生支援事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	高等教育機関在学学生支援事業費	ページ	19	所 属 名
年度	R2	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【10次総の施策体系】1102			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症の拡大は、アルバイトや実家の収入の減少等により、大学等に通う学生の生活に大きな影響を及ぼしている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市の大学及び専門学校が、新型コロナウイルス感染症の影響に対し実施する取組に要する経費を交付することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学生を支援する。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
補正前額	0	○対象 市内に所在する大学及び専門学校		
要求額	16,000	○対象事業 ・大学等が学生を臨時的に直接雇用する事業 (対面授業における3密回避のサポート、遠隔授業アシスタント等)		
総務部長段階査定額	16,000	・学内で実施する感染防止対策及び環境整備事業 (感染防止のためのアクリル板、パーテーション、消毒液の設置等)		
市長段階査定額	16,000	○事業費 16,000千円 ・大学等が学生を臨時的に直接雇用する経費 8,000千円 ・学内で実施する感染防止対策及び環境整備に要する経費 8,000千円		
総務部長段階査定額	16,000	【事業の内容】		
市長段階査定額	16,000	○対象 市内に所在する大学及び専門学校		
区分	補正額	○対象事業 ・大学等が学生を臨時的に直接雇用する事業 (対面授業における3密回避のサポート、遠隔授業アシスタント等)		
財源内訳		・学内で実施する感染防止対策及び環境整備事業 (感染防止のためのアクリル板、パーテーション、消毒液の設置等)		
国・県支出金	16,000	○事業費 16,000千円		
地方債	0	・大学等が学生を臨時的に直接雇用する経費 8,000千円		
その他	0	・学内で実施する感染防止対策及び環境整備に要する経費 8,000千円		
一般財源	0	【事業の内容】		
計	16,000	○対象 市内に所在する大学及び専門学校		
行財政改革課処理欄				

企004	項目名	ふるさと鳥取市・県外学生支援事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	高等教育機関在学学生支援事業費	ページ	19	所 属 名
年度	R2	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【10次総の施策体系】1102			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症の拡大は、アルバイトや実家の収入の減少等により、大学等に通う学生の生活に大きな影響を及ぼしている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市から県外へ進学した学生に対し、米や農産物、加工品等を詰め合わせた「トトリー氏からのがんばる出身学生応援便」を提供することで、県外で学生生活を送る本市出身の学生を支援するとともに、本市への愛着の醸成につなげることを目的とする。また、市内の農産物等を用いることで、地場産業の活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
補正前額	0	○対象者 保護者が本市に住所を有し、鳥取県外の学校(大学・大学院、短期大学、専修学校等)に在学している学生。		
要求額	24,000	○事業内容 対象者1人につき、5,000円相当の「トトリー氏からのがんばる出身学生応援便」を2回に分けて送付する。		
総務部長段階査定額	24,000	○事業費 24,000千円 ・5,000円×2,000人×2回=20,000千円 ・事務委託費 4,000千円		
市長段階査定額	24,000	※市議会事務局「調査研究費」の減額分を財源として活用。		
区分	補正額	【事業の内容】		
財源内訳		○対象者 保護者が本市に住所を有し、鳥取県外の学校(大学・大学院、短期大学、専修学校等)に在学している学生。		
国・県支出金	14,000	○事業内容 対象者1人につき、5,000円相当の「トトリー氏からのがんばる出身学生応援便」を2回に分けて送付する。		
地方債	0	○事業費 24,000千円		
その他	0	・5,000円×2,000人×2回=20,000千円		
一般財源	10,000	・事務委託費 4,000千円		
計	24,000	【事業の内容】		
行財政改革課処理欄				

企005	項目名	市政広報費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	市政広報費	ページ	19
年度	R2	所 属 名	
		企画推進部 秘書課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【10次総の施策体系】5101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症について、根拠のない風評による誹謗中傷も発生する中で、市としての対応や支援策などの信頼できる情報を適切に発信することが求められている。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 情報の伝達力強いメディアの特性を生かしながら、新型コロナウイルス感染症に関する情報や市の方針・施策について効果的に情報提供を行っていくことで、市民生活の安全・安心を確保する。 また、「新しい生活様式」が提唱される中で、その市民生活への定着を促進することを目的に、既存の広報資源（地下道広告枠、本庁舎タペストリー掲示枠、PRキャラクター）を活用した効果的な啓発を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示 (2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ		
補正前額	10,928	【事業の内容】	
要求額	886	(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
総務部長段階査定額	886	(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	
市長段階査定額	886	【事業の内容】	
区分	補正額	(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
財源内訳		(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	
国・県支出金	886	【事業の内容】	
地方債	0	(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
その他	0	(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	
一般財源	0	【事業の内容】	
計	886	(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
行財政改革課処理欄		(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	

企006	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	19
年度	R2	所 属 名	
		企画推進部 情報政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【10次総の施策体系】5401		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 情報通信網は、近年の情報化社会において、市民生活に必要な不可欠な社会基盤の一つとなる中で、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」に対応する社会生活においては、テレワークやオンライン授業などICTの活用に超高速情報通信網が必要となるが、整備の遅れている地域があるため、情報格差が生じており、格差是正に向けた取り組みが求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 目的：本市が所有する有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため超高速通信網の整備（FTTH化※）を行う。 効果：超高速情報通信基盤の整備に伴う、情報情報化の推進及び地域格差の是正5Gなどによる高速・大容量の無線通信環境を実現するための基盤整備		
(単位：千円)	【事業の内容】 有線テレビジョン放送網のFTTH化 ・対象範囲：CATV公設民営エリアの中の光化未整備地域 ・エリア：鳥取地域：明治、東郷 東部地域：国府、福部 南部地域：河原、用瀬、佐治 西部地域：気高、鹿野、青谷 ・整備内容：伝送路設備の光ファイバ化、局舎、局舎内設備		
補正前額	0	※FTTH化：各家庭まで光ファイバによる通信網を整備すること。	
要求額	2,173,352	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	2,173,352	(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
市長段階査定額	2,173,352	(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	
区分	補正額	【事業の内容】	
財源内訳		(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
国・県支出金	1,883,068	(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	
地方債	290,100	【事業の内容】	
その他	0	(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	
一般財源	184	(2) 啓発用グッズ・・・新生活様式啓発用グッズ	
計	2,173,352	【事業の内容】	
行財政改革課処理欄		(1) サイネージ広告・・・地下道広告、庁内タペストリーによる掲示	